



左から OPP 副局長、DSDW 局長、副大臣、次官、副次官、
企画戦略部部長（社会開発人間安全保障省）

6 月 5 日はタイの「Anti-Trafficking Day」です。この日は人身取引対策の新法律（2008 年）が施行された日でもあり、今年は 1 周年記念となります。人身取引対策のための日を内閣で承認しているのは世界でもめずらしい例ではないでしょうか。人身取引対策に取り組むタイ政府の真剣な姿勢がうかがえます。

この催しは社会開発・人間安全保障省主催で、国内の関係機関、NGO、そして政策レベルでタイ政府を支援している国際機関やドナーなど約 200 人を招待され、人身取引防止に一丸となって取り組んでいくことを新たに誓いました。

副大臣のスピーチの中では国家アジェンダとして人身取引の問題に取り組んでいくこと、そして社会開発・人間安全保障省だけでなく、他機関、NGO や国際機関と協力し、MDT アプローチを使って問題解決に取り組む重要性が強調されました。



会場の展示パネル
（ケージの由け被害者の演技をオス俳優）

会場では NGO の取り組みを紹介するブース、人身取引電話ホットラインのパネル、クレットラカーンシェルターに滞在している被害者が作成した手工芸品の販売などが行われました。プロジェクト専門家も BATWC スタッフとお揃いの Anti-Trafficking のロゴが入ったポロシャツを着て参加しました。



また今月を「人身取引対策月」として人身取引対策部もコミュニティ向けのイベントを計画しているようです。

